

副支部長 佐藤 欣一さん



北区HP



札幌市図書館



北4条の夏祭り「ノースロード24フェスタ」で金魚くじの出店をしたり、北区民センターで「子ども祭り」を開催するなど、佐藤さんは子どもたちの心に温かい記憶を刻む「仕事人」。きっかけは「炭鉱のまち」で育った私の原風景にお祭り、屋台、縁日があって、それが楽しくて懐かしい思い出として残っています。都会で暮らす子どもたちにも、そんな体験をさせてあげたいと思ったから」。実際に祭りに来る子どもたちの生き生きとした表情や、会場にあふれる親子の笑顔を見ていると幸せな気持ちになると言います。一方で、地域で子育てをしていたひと昔前とは違い、子ども会に携わる保護者もわが子が成長すると、活動を離れてしまうことが多く、事業継続の難しさも実感。「子どもたちに故郷の優しい記憶を残してあげたい」。佐藤さんの思いはきっと未来につながっていくはずです。

2008年発行 P21-24 15号

新琴似西少年消防クラブ

部長 松本政昭さん

掲載当時、結成20年目の所属メンバーは新琴似西小学校4年生から6年生の18人。10人のボランティア指導員による活動計画の下、三和地区と双葉地区の防火パトロール、規律訓練・ロープ結索訓練、「119番の日」防火啓発など、クラブ一丸となって取り組んでいました。

規律訓練の様子

2013年発行 P61-62 20号

屯田防犯パトロール隊（通称：とんぼ隊）

隊長 松井敦利さん

とんぼ隊を立ち上げて9年目の掲載当時、冬期間に除雪作業と防犯パトロールを同時に行う活動について、北警察署より「みなさんの活動を参考に、今年から北海道全域で北海道警察と国道の除雪業者が子どもの見守りに関する安全協定を締結しました」と報告を受けました。

とんぼ隊のマーク

2009年発行 P68-72 16号

太平百合が原地区青少年育成委員会

会長 熊木基雄さん

2009年は、ふれあい収穫祭10周年の年。百合が原ファーム（熊木農園）の協力を得て、約100人の地域の子どもたちや保護者が、収穫体験をするイベントです。ジャガイモととうもろこしの昼食会、カレーセットが当たるbingo大会などで、食への関心が高まることを願っています。

ジャガイモ、玉ねぎの収穫の様子

2005年発行 P16-18 12号

スロー・ライフ・イン・24 実行委員会

実行委員長 小泉詔信さん

「食と花でまちづくり・スロー・ライフ・イン・24」とテーマが決定。実行委員会開催へ向け準備が始まり、2004年3月に札幌サンプラザで第1回実行委員会が開催されました。同年6月には歩道へのプランター設置、8月には「スロー・ライフ・イン24フェア」としてお祭が行われました。

自転車撤去とプランター設置

2019年発行 P57-58 23号

新琴似西地区福祉のまち推進センター

事務局長 貴戸和彦さん

2019年度の福祉研修会は〈基本研修〉〈実践報告〉〈研修講義〉〈寸劇より学ぶ〉とそれぞれの研修会にテーマを持たせ4回開催。特に4回目の北区社協生活支援コーディネーターが脚本を作成した寸劇「支え合いの明日へ向けて」は、センター職員も参加し、好評を博しました。

寸劇を演じる皆さん

2012年発行 P21-22 19号

新琴似西連合町内会

防災部長 新井明さん

防災に関して尽力した2011年。8月には新琴似西連合町内会と北区役所による合同防災訓練を新琴似西公園で行い、500人が参加しました。11月には、17町内会の会長と防災担当部長、連町の校区にある6つの小中学校から7人が参加し、避難場所運営研修を行いました。

防災訓練の様子

2006年発行 P24-27 13号

屯田地区健康づくり推進実践会

会長 大泉道雄さん

2005年に発足10周年を迎え、翌年2006年には屯田地区センターにて記念式典を開催。当時の平木屯田連合町内会長、渡辺屯田社会福祉協議会長、三脊北区保健担当部長など、来賓を迎えて執り行いました。さらに、10周年記念誌「健翔」も発行しました。

10周年記念誌「健翔」

2012年発行 P47-48 19号

拓北・あいの里ケア施設町内会

事務局長 長谷川聰さん

拓北・あいの里ケア施設町内会は、同連合町内会地区にある、介護・福祉・医療施設や、居住する専門家・関係者で構成された、ちょっと珍しい町内会。「他の町内会」と日頃から交流し、助け合うことを目的に、2011年に発足しました。

自分の家族の介護体験を語る大学教員

2017年発行 P53-54 22号

北区北地区民生委員児童委員協議会

会長 紙谷京子さん

2004年から始まった「ワンちゃんパトロール」。朝夕の犬の散歩に併せて地域の見守りを行う活動です。その後、子どもたちの下校に時間を変更するなど内容を見直し、2014年に「まもりんパトロール」と名称変更。開始時436人だった参加者は掲載時には802人に。

町内会をパトロール中

2019年発行 P67-68 23号

篠路地区コミュニティネットワーク会議青少年部会

部会長 清水和夫さん

篠路地区見守り隊は登下校時の見守り、公園パトロールなどの活動成果が認められ、2018年度「防犯功労団体」として全国表彰を受けました。地域の防犯や安全に関して功績が顕著な団体に対して贈られるもので、全国で38団体、そのうち北海道内は2団体が表彰されました。

公園パトロールの様子

2019年発行 P17-18 23号

鉄西第12町内会

会長 畠眞佐子さん

ノースウイング23号にて、「私たちの町内会は、「避難よりも近所同士で助け合う体制」を諦めずに、ゼロベースから「災害発生72時間、地域住民を地域で守る」新たな取り組みを開始します」と防災体制づくりの整備を誓った鉄西第12町内会。住民同士の「近助」の取り組みが広がりました。

鉄西第12町内会で制作した防災マップ

2019年発行 P17-18 23号

鉄西第12町内会

会長 畠眞佐子さん

ノースウイング23号にて、「私たちの町内会は、「避難よりも近所同士で助け合う体制」を諦めずに、ゼロベースから「災害発生72時間、地域住民を地域で守る」新たな取り組みを開始します」と防災体制づくりの整備を誓った鉄西第12町内会。住民同士の「近助」の取り組みが広がりました。

鉄西第12町内会で制作した防災マップ